

# 環境活動レポート（臨時号）

2010年度  
対象期間  
(2010年2月~2011年1月)



 **SHINIPPON**  
CALENDAR CO.,LTD.

発行 2011年2月

# 目次

- 1、 環境方針
- 2、 組織の概要
  - (1) 事業所名及び代表者名
  - (2) 所在地
  - (3) 管理責任者氏名・エコアクション21担当者・連絡先
  - (4) 事業概要
  - (5) 事業規模
- 3、 環境目標及びその実績と評価
- 4、 環境活動計画内容、取組み結果の評価
- 5、 環境関連法規への違反、訴訟等の有無
- 6、 代表者による全体評価と見直し

## 1, 環境方針

新日本カレンダー株式会社 東京支店は環境経営システムを構築・運用し、社員一丸となって自主的・積極的に環境保全活動に取り組みます。

営業拠点である東京支店の販売商品のカレンダー・団扇・扇子その他販促用品の営業活動における環境負荷を低減する為、次のとおり行動指針を定めます。

### 【環境行動指針】

1. 地球温暖化防止のため二酸化炭素排出量削減
2. 廃棄物等、排出量の削減
3. 省資源化の推進
4. 環境教育の実施

上記の環境方針を東京支店で働く全ての従業員に周知徹底します。

2010年7月1日  
新日本カレンダー株式会社 東京支店

支店長 **庄司 永人**

## 2. 組織の概要

### (1) 事業所名及び代表者名

新日本カレンダー株式会社 東京支店  
取締役 支店長 庄司 永人

### (2) 所在地

東京支店 東京都千代田区神田神保町3-7-1 ニュー九段ビル8F

### (3) 管理責任者氏名・エコアクション21担当者・連絡先

代表者	東京支店	支店長	庄司 永人
責任者	東京支店	営業部	平井 剛
担当者	東京支店	営業部	細井戸 大樹
	東京支店	営業部	中西 理子
	東京支店	営業部	広川 安子

#### 連絡先

TEL 03-5216-8825

FAX 03-5216-8820

### (4) 事業概要

カレンダー・団扇・販促品の販売における営業拠点

### (5) 事業規模

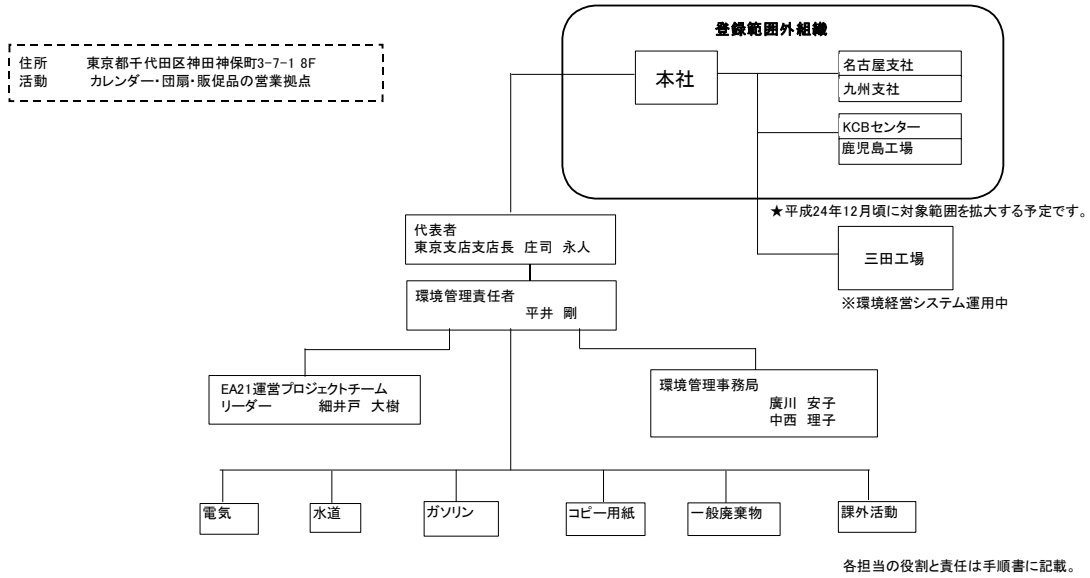
製品出荷額 13.75 億円 / (2009年度実績)

従業員 11名

工場延べ床面積 152 m<sup>2</sup>

作成日	2010年7月1日
改定日	2011年1月19日
作成者	中西

新日本カレンダー株式会社 東京支店 環境経営システム組織図



＊登録済み

- ◆ 三田工場 兵庫県三田市テクノパーク5番9 (登録番号 1814)

＊登録外組織

- ◆ 本社 大阪府大阪市東成区中道3丁目8番11号
- ◆ 九州支社 福岡県福岡市博多区店屋町7番7号
- ◆ 名古屋支社 愛知県名古屋市昭和区長池町3-24
- ◆ 鹿児島工場 鹿児島県鹿児島市小山田町6496番地
- ◆ 北関東カレンダー物流センター 栃木県真岡市久下田803番地1 (KCBセンター)

登録範囲外組織については、事業所毎に順次、認証・登録の準備に取り掛かっており、2015年7月を目処に全事業所の認証・取得を目標に構築を進めている。

### 3.環境目標及びその実績と評価

作成日:2011年2月9日

作成者: 中西

年度 項目	2009年		2010年		2011年	2012年	
	(基準年度) 2月～翌1月		(目標) 2月～翌1月	(実績) 2月～翌1月	(目標) 2月～翌1月	(目標) 2月～翌1月	
二酸化炭素の削減	kg-CO <sub>2</sub> ※	14,160	13,878 (▲2%)	14,182 (△1%)	13,594 (▲4%)	13,452 (▲5%)	
電力の削減	使用量 (kwh)	32,009	31,369 (▲2%)	31,637 (▲2%)	30,729 (▲4%)	30,408 (▲5%)	
一般廃棄物の削減	総量 (kg/年)	307	292 (▲5%)	271 (▲11%)	282 (▲8%)	276 (▲10%)	
ガソリンの削減	使用量 (L)	805	789 (▲2%)	876 (△8%)	773 (▲4%)	765 (▲5%)	
省資源	コピー用紙 使用量削減	使用量 (枚)	169,000	152,100 (▲10%)	133,000 (▲21%)	143,650 (▲15%)	135,200 (▲20%)
	節水	総量 (m <sup>3</sup> /年)	-	-	-	-	-
地域への環境配慮	エコ会議		実施	実施	実施	実施	
	エコ検定 (8人受験)		全員合格	6/8人合格			
	環境ボランティア		実施	×	実施	実施	

※電力の排出指数・・・0.384

#### 2010年取組実績評価

電力の削減	×	猛暑でエアコンの使用が多かった。一部消灯、部分空調を徹底する。
一般廃棄物の削減	○	一人一人の分別の意識が高まり大幅な削減が出来た。
ガソリンの削減	×	突発的なクレーム対応により使用頻度が高くなってしまった。
コピー用紙の削減	○	FAXの裏紙使用により大幅な削減ができた。
節水	○	数字にはでないが、今後も節水を心がける。

#### 4.環境活動計画内容、取組み結果の評価

環境目標	実施項目	取組評価	取組み結果の評価
電力量の削減	蛍光灯の間引き実施	○	2011年1月末倉庫の蛍光灯を間引きし節電。(18本中10本)設置している自動販売機をヒートポンプ仕様の環境配慮型の自動販売機へ変更。又、各種電気機器は使用時のみ電源をONにする等を行った。  時間限定で一部フロアを消灯する等の試み、部分空調のON/OFF等はまだまだ根付いていない。 チェックシート等を設ける等、更なる意識の浸透が必要。
	12:00~13:00の一部消灯実施	×	
	環境配慮型自動販売機への変更	○	
	10:00以前、18:00以降の部分空調OFF	×	
	常設電気機器の稼働時間調整	○	
ガソリン量の削減	エコドライブの推進	×	得意先への訪問の際に車の利用を自粛し、電車の利用を促進する等、徐々にではあるが意識が芽生えつつある。しかし、突然のクレームにより社用車を頻繁に利用せざるをえない状況になりガソリン量がアップしてしまった。次年度の課題としては、個人個人にエコドライブの意識が芽生えるような施策を考えることが必要。
	公共交通機関の利用促進	○	
一般廃棄物の削減	有価紙の再利用(業者へ委託)	○	ゴミの分別BOXを設置したことにより、分別への意識は大幅に高まったと言える。 また、返品カレンダーを三田工場で有価物処理してもらうようにした。
	ゴミの分別(可燃・不燃・缶・PET等)	○	
	有価物として処理するために返品カレンダーを三田工場へ	○	
省資源化	N-up印刷機能の用いる等の用紙節約	×	社内使用書類の裏紙への印刷も根付き、コピー/FAX/プリント問わず活用できている仕組みが出来たのはひとつの成果。今後は、N-up機能やWEBページ出力の際の注意、書類の電子化(PDF化)等パソコンの機能を更に活用した用紙節約を意識していく必要がある。  貼り紙を設置したことにより、節水を意識し、水圧を調整し節水することが出来た。
	WEBページ出力の際のページ指定	×	
	PDFデータ化出来る資料は出力せずメールにて送付	×	
	裏紙の使用	○	
	コピー用紙削減	○	
	節水を呼びかける貼り紙設置	○	
	水圧を調節	○	
環境教育の実施	エコ会議の実施	○	エコ会議において、各部門担当者の発表を求め改善にむけて議論した。また、東京支店の従業員でエコ検定を受けエコへの知識を深め、8人受験し6人合格した。今後は課外活動の活動もしていく。
	Eco検定8名受験	○	
	ボランティア、近隣施設の見学	×	

評価記号の説明: ○; 計画通り実施、×; 計画通りの実施に至らず

## 5、環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社に関する環境関連法規等を遵守状況を確認した結果、過去3年間違反はありませんでした。

また、関係機関からの違反指摘、訴訟をありません。

法規制等の名称	該当する要求事項
廃棄物処理法	一般廃棄物の適正処理
家電リサイクル法	有効資源の再利用・廃棄物削減
資源有効利用促進法	有効資源の再利用・廃棄物削減

## 6、代表者による全体評価と見直し

エコアクション21を開始する前に比べ、環境に対する意識が高くなり、従業員一人一人が主体的に取り組むようになった。コピー用紙の裏紙使用・ゴミの分別等により、資源節約・一般廃棄物削減に関しては良好な結果が得られた。ガソリンについては、社用車の利用を最小限に控え、公共交通機関の利用促進が定着しているが、本年度はクレーム対応により、社用車を利用せざるを得ない状況もあり、目標の達成には至らなかった。公共交通機関の利用促進は継続し、やむを得ず社用車を利用する場合は、エコドライブを心がけるようにする。

11年度においては、各種活動の計画実施と環境目標達成を目指し、活動を展開していく。また、エコ検定参加者の募集、社外環境活動への積極参加、エコ会議の継続等を通して、各自がエコ意識を高め活動し、更なる環境への貢献を目指す。

代表者 庄司永人